

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部		中学部		学 年	1年
教科等名		音楽		グループ名	学年
ねらい		・曲名や曲の雰囲気と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくり、身体表現の技能を身に付けるようにする。 ・音楽表現を考えて表したい思いや意図をもつことや、音楽のリズムや強弱、楽器の響きの違いを味わいながら聴くことができるようにする。 ・進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に触れるとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。			
担当教員		○後藤 紗希 趙 里愛 弘原海 伸也 窪谷 優孝 森川 あゆ美 木津 秀章 青崎 晃司 中村 海 片田 啓			
予定授業時数		70.4			
使用教科書		東京書籍「音楽☆☆☆☆」			
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
通年	音楽の決まり	○	・音符や休符の決まり ・記号と拍子(ト音記号、繰り返し記号、4拍子) ・音の強弱	・ト音記号や拍子の読み方や数え方が分かる。 ・音階や和音を聴いて、響きの違いを感じ取り、表現することができる。 ・強弱による楽曲の変化を味わい、感じたことを表現することができる。	・音符カードを使用する。 ・音色の変化が大きい曲を使用して表現しやすいようにする。
4	・季節の歌を歌おう ・音楽に合わせて身体表現しよう	○	・歌唱:校歌、こいのぼり(共) ・身体表現:「セブンスステップス」	・範唱を聴いて歌ったり、歌詞を見て歌ったりすることができる。 ・示範を見て体を動かしたり、曲の速度やリズム、曲の雰囲気に合わせて身体表現することができる。	・歌唱の前に映像や写真を見たり、歌詞を音読したりする。 ・振りの動きを大きく示す。
5 6	・日本の歌を歌おう ・合奏しよう		・歌唱:茶摘み(共) ・器楽:マンボ No.5	・友達の歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌うことができる。 ・簡単な楽譜を見てリズムや速度を意識して演奏することができる。	・タブレット端末で録画し、響きの違いを聴き比べる。 ・音色の異なる楽器を演奏し、響きの違いを比べる。
6 7	・郷土の音楽を知ろう		・歌唱:まきばの朝(共) ・鑑賞(日本各地の民謡)	・鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の良さなどを見出して聴くことができる。	・伝統楽器を演奏したり譜面を提示したりして、西洋音楽との違いを比べる。
9	・歌声を響かせよう ・和太鼓を響かせよう		・歌唱:移動教室の歌 ・器楽:かがやけ囃子	・曲名や曲の雰囲気と音楽の構造とのかかわりに気付いて歌唱表現することができる。 ・曲の雰囲気と音楽の構造との関わりに気付いて器楽表現ができる。	・実態に合わせて楽器や撥を選択する。
10 11	・学習発表会の練習	○	・舞台発表の練習	・進んで音や音楽に関わり、共同して音楽活動することができる。	・見本を明確に示す。
12	・リズムを重ねて楽しもう ・物語の音楽を楽しもう		・音楽づくり:いろいろな音符と休符 ・鑑賞:「ミュージカル」(サウンドオブミュージック)	・音楽の仕組みを生かして、簡単な音楽を作ることができる。 ・鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の良さなどを見出して聴くことができる。	・リズムカードを使用して組み合わせ、リズムを作る。 ・照明を暗くして鑑賞する。
1 2	・ハーモニーを響かせよう		・歌唱:(花は咲く) ・器楽:アメージンググレイス	・友達の歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌うことができる。 ・曲名や曲の雰囲気と音楽の構造とのかかわりに気付いて歌唱表現することができる。	・他者の声が聴こえるよう人数を制限したりグループを分けたりして歌唱する。 ・色楽譜を使用す
3	1年のまとめ		・歌唱:校歌 ・鑑賞:オペラ(魔笛)	・音楽の仕組みを生かして、簡単な音楽を作ることができる。 ・鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の良さなどを見出して聴くことができる。	・曲想と歌詞の表す情景について、思いをもって表現することができる。 ・スライドで作曲者や曲の登場人物、ストーリーを示す。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。